

2026年度第2四半期決算概要 および2026年度業績予想

2026/8/4



I N D E X

01

2026年度第2四半期決算概要

02

2026年度 業績予想

03

中期経営計画2029（中計29）の方向性

04

Appendix

01

2026年度第2四半期決算概要

01

決算概要 サマリー

2026年度
第2四半期
実績

/前年同期、(増減)

①	受注高	:	6,071億円	/	5,355億円	(716億円)
②	売上高	:	5,542億円	/	4,946億円	(595億円)
③	営業利益	:	374億円	/	217億円	(158億円)

前年同期比

市場環境

国内は設備投資、輸出とも堅調。北米は底堅く推移し、欧州も緩やかに回復。
中国は需要の低迷が継続。中東情勢・米国関税等により先行きは不透明感あり。

受注高

インダストリアル マシナリーを除いたセグメントで増加。

売上高

全セグメントで増加。

営業利益

売上の増加に伴い全セグメントで増加。

01

決算概要

単位：億円	2025年度			2026年度			前年同期比 増減
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	
受注高	2,602	2,753	5,355	3,184	2,887	6,071	716
売上高	2,415	2,531	4,946	2,556	2,986	5,542	595
営業利益	112	105	217	134	241	374	158
営業利益率	4.6%	4.1%	4.4%	5.2%	8.1%	6.8%	2.4pt
経常利益	87	102	189	110	231	341	152
経常利益率	3.6%	4.0%	3.8%	4.3%	7.7%	6.2%	2.3pt
特別損益	12	△8	5	22	△27	△5	▲10
親会社株主純利益	65	59	124	79	141	220	96
親会社株主純利益率	2.7%	2.3%	2.5%	3.1%	4.7%	4.0%	1.5pt
為替レート(USD/JPY)	-	-	¥148	-	-	¥158	-

01 決算概要 セグメント別業績

受注高 : インダストリアル マシナリーを除いたセグメントで増加。

売上高 : 全セグメントで増加。

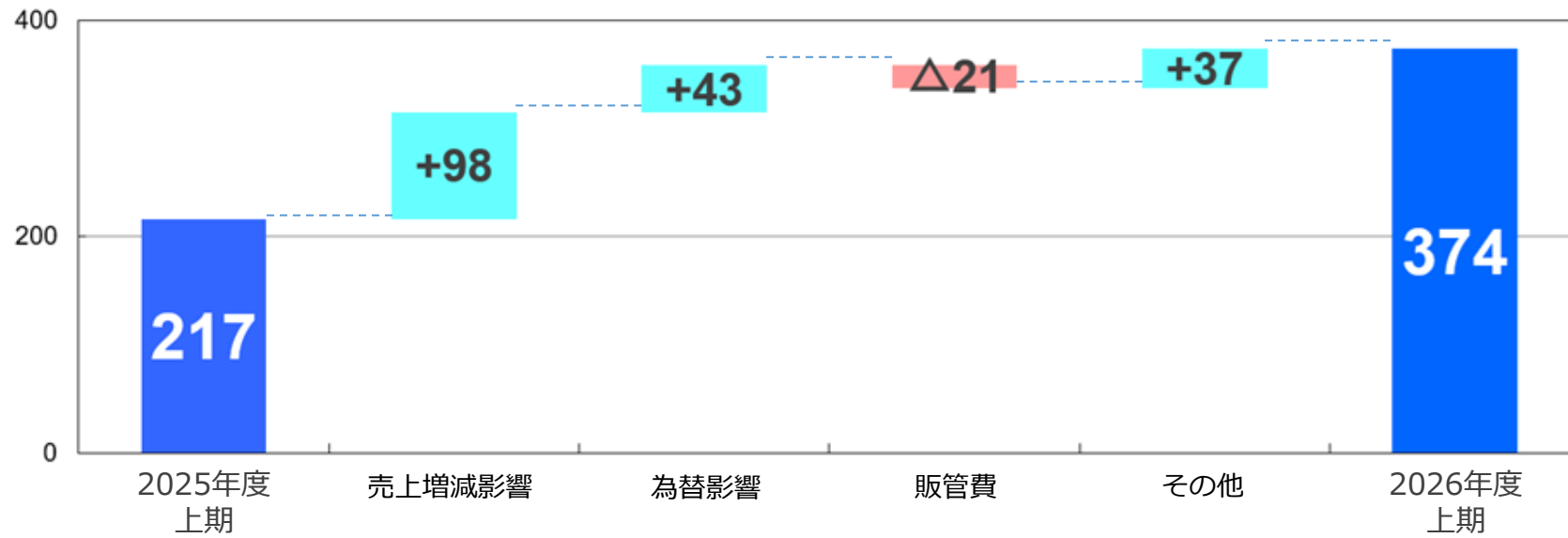
営業利益 : 売上の増加に伴い全セグメントで増加。

	受注高			売上高			営業利益				
	2025年度 上期実績	2026年度 上期実績	増減	2025年度 上期実績	2026年度 上期実績	増減	2025年度 上期実績		2026年度 上期実績		増減
単位 : 億円											
メカトロニクス	1,328	1,601	272	1,294	1,485	191	86	6.7%	136	9.2%	50
インダストリアル マシナリー	1,146	1,079	▲67	982	1,017	36	△30	△3.1%	22	2.1%	52
ロジスティクス & コンストラクション	1,936	2,136	200	1,754	2,082	327	79	4.5%	125	6.0%	46
エネルギー&ライフライン	911	1,220	309	883	926	43	70	8.0%	82	8.9%	12
その他	34	36	2	34	32	▲2	11	-	10	-	▲1
合計	5,355	6,071	716	4,946	5,542	595	217	4.4%	374	6.8%	158

01

2026年度 第2四半期 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳 単位：億円

● メカトロニクス	32
● インダストリアル マシナリー	6
● ロジスティックス& コンストラクション	57
● エネルギー& ライフライン	3
合計	98

01

連結貸借対照表

単位：億円

	2025/12末	2026/6末	増減
流動資産	7,868	8,070	202
現預金	1,111	1,331	220
売上債権	3,137	3,024	▲112
棚卸資産	3,288	3,402	114
その他	333	313	▲20
固定資産	5,337	5,401	63
有形固定資産	3,732	3,786	54
無形固定資産	331	331	0
投資その他の資産	1,274	1,284	9
資産合計	13,205	13,471	266

	2025/12末	2026/6末	増減
負債	6,343	6,401	57
買掛債務	1,464	1,244	▲220
有利子負債	2,527	2,716	189
その他	2,352	2,440	89
純資産	6,862	7,070	208
株主資本	4,884	4,958	74
その他の包括利益累計額	1,933	2,066	133
非支配株主持分	46	46	1
負債・純資産合計	13,205	13,471	266
ネット有利子負債比率	10.7%	10.3%	▲0.5pt
自己資本比率	51.6%	52.1%	0.5pt

01

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

区分	2025年度 上期	2026年度 上期	増減
営業活動	466	366	▲100
税金等調整前当期純利益	194	336	142
減価償却費	186	207	21
運転資本	230	△60	▲290
その他（税金等）	△143	△117	26
投資活動	△309	△173	136
（フリーキャッシュ・フロー）	158	193	36
財務活動	△67	4	71
現金・現金同等物増減	54	225	172
現金・現金同等物期末残高	1,130	1,308	177

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 上期
フリー キャッシュ・ フロー（億円）	△159	221	△354	43	193
債務償還年数 （年）*1	7.5	2.5	18.7	4.0	
インタレスト・ カバレッジ・ レシオ（倍）*2	20.0	27.1	3.4	16.8	

*1 有利子負債÷営業キャッシュ・フロー

*2 営業キャッシュ・フロー÷利払い

02

2026年度 業績予想

02

2026年度業績予想 サマリー

2026年度予想

/前回予想（26年2月時点）、
（増減）

① 受注高	:	11,800億円 /	11,200億円	（600億円）
② 売上高	:	11,200億円 /	10,900億円	（300億円）
③ 営業利益	:	680億円 /	600億円	（80億円）
④ ROIC	:	5.3% /	4.8%	（0.5pt）

前回予想比

受注高

メカトロニクス、ロジスティックス&コンストラクションで増加。

売上高

メカトロニクス、ロジスティックス&コンストラクションで増加。

営業利益

売上の増加に伴い増加。

トピック
市況認識

- 全般に受注環境は改善傾向。半導体製造装置は前年比で増加も本格的な回復に至らず。
- 中東情勢を背景としたコスト増加要因あるも、人員対策含む構造改革の効果もあり営業利益は増加。

02

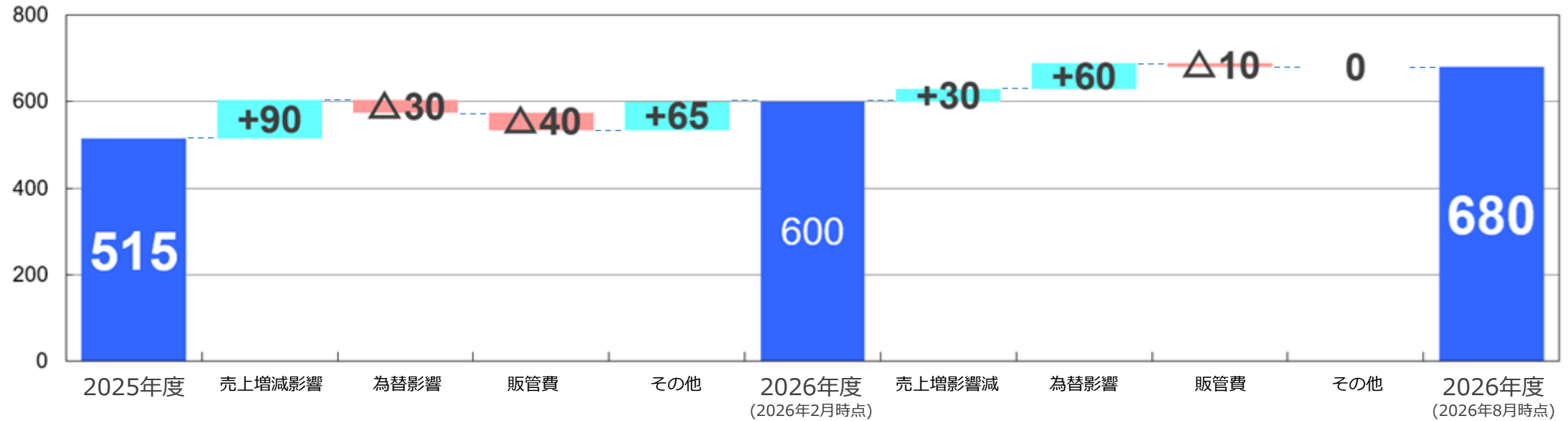
2026年度業績予想

単位：億円				前回予想 (26年2月)	前回予想比 増減			(参考)
	上期 実績	下期 予想	2026年度 予想			上期 実績	下期 実績	2025年度 実績
受注高	6,071	5,729	11,800	11,200	600	5,355	6,229	11,584
売上高	5,542	5,658	11,200	10,900	300	4,946	5,723	10,669
営業利益	374	306	680	600	80	217	298	515
営業利益率	6.8%	5.4%	6.1%	5.5%	0.6pt	4.4%	5.2%	4.8%
経常利益	341	279	620	550	70	189	270	459
経常利益率	6.2%	4.9%	5.5%	5.0%	0.5pt	3.8%	4.7%	4.3%
特別損益	△5	△55	△60	△50	▲10	5	△16	△11
親会社株主純利益	220	130	350	340	10	124	185	309
親会社株主利益率	4.0%	2.3%	3.1%	3.1%	0.0pt	2.5%	3.2%	2.9%
1株当たり配当	70円	75円	145円	145円	0円	60円	65円	125円
総還元性向	-	-	74.7%	76.2%	▲1.5pt	-	-	48.6%
ROIC(税引後)	-	-	5.3%	4.8%	0.5pt	-	-	4.2%
ROE	-	-	5.0%	5.0%	0.0pt	-	-	4.7%
為替レート(ドル)	¥ 158	¥ 155	-	¥145	-	¥ 148	-	¥150

02

2025年度/2026年度 営業利益増減分析

単位：億円



売上増減影響 セグメント別内訳

単位：億円

	前回予想 (2026年2月)	今回予想 (2026年8月)	増減
● メカトロニクス	50	70	20
● インダストリアル マシナリー	30	30	0
● ロジスティックス&コンストラクション	30	60	30
● エネルギー&ライフライン	△20	△40	▲20
合計	90	120	30

02

2026年度セグメント別業績予想

単位：億円

	受注高				売上高				営業利益						
	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績		2026年度 予想 (26年2月時点)		2026年度 予想 (26年8月時点)		増減 (2月-8月)
単位：億円															
メカトロニクス	1,601	2,890	3,120	230	1,485	2,880	3,060	180	136	9.2%	220	7.7%	265	8.7%	45
インダストリアル マシナリー	1,079	2,240	2,240	0	1,017	2,280	2,280	0	22	2.1%	80	3.5%	80	3.5%	0
ロジスティクス &コンストラクション	2,207 (2,136)*	3,990	4,460 (4,260)*	470 (270)*	2,153 (2,082)*	3,980	4,300 (4,130)*	320 (150)*	128 (125)*	5.9% (6.0%)*	190	4.8%	225 (213)*	5.2% (5.2%)*	35 (23)*
エネルギー &ライフライン	1,149 (1,220)*	2,020	1,960 (2,160)*	▲60 (140)*	854 (926)*	1,700	1,530 (1,700)*	▲170 (0)*	79 (82)*	9.3% (8.9%)*	80	4.7%	90 (102)*	5.9% (6.0%)*	10 (22)*
その他	36	60	20	▲40	32	60	30	▲30	10	-	30	-	19	-	▲10
合計	6,071	11,200	11,800	600	5,542	10,900	11,200	300	374	6.8%	600	5.5%	680	6.1%	80

*セグメント構成事業の組替（下段の数値は組替前）：26年7月1日付でエネルギー&ライフラインの住友重機械プロセス機器(株)をロジスティクス&コンストラクションに移管

02

メカトロニクス

■ 2026年度上期実績（前年同期増減）

受注高

1,601億円 (272億円)

変減速機、モータ・インバータは国内、米国、欧州の堅調な需要により増加、極低温冷凍機も半導体関連の需要を受けて増加。

売上高

1,485億円 (191億円)

受注の増加に伴い、変減速機、モータ・インバータ、極低温冷凍機で増加。

営業利益

136億円 (50億円)

売上の増加に伴い増加。

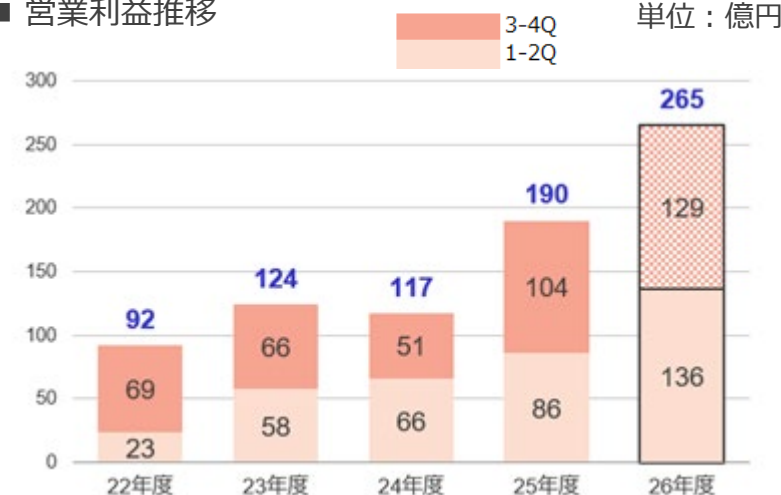
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



■ 2026年度予想（前回予想（26年2月時点）増減）

受注高

3,120億円 (230億円)

為替想定見直しに加え、極低温冷凍機にて半導体関連の需要好調あり増加。

売上高

3,060億円 (180億円)

受注の増加に伴い増加。

営業利益

265億円 (45億円)

売上の増加に伴い増加。

02

インダストリアル マシナリー

■ 2026年度上期実績（前年同期増減）

受注高

1,079億円 (▲67億円)

半導体製造装置は増加するも、先端医療機器等の受注が少なかったことから減少。

売上高

1,017億円 (36億円)

受注残が多かったことから半導体製造装置を中心に増加。

営業利益

22億円 (52億円)

売上の増加に加え、プラスチック加工機械での採算の改善が進み増加。

■ 2026年度予想（前回予想（26年2月時点）増減）

受注高

2,240億円 (0億円)

半導体製造装置は顧客の投資延期・見直しにより減少、その他の機種で増加。

売上高

2,280億円 (0億円)

機種により入り繰りあるも全体では前回予想通り。

営業利益

80億円 (0億円)

前回予想通り。

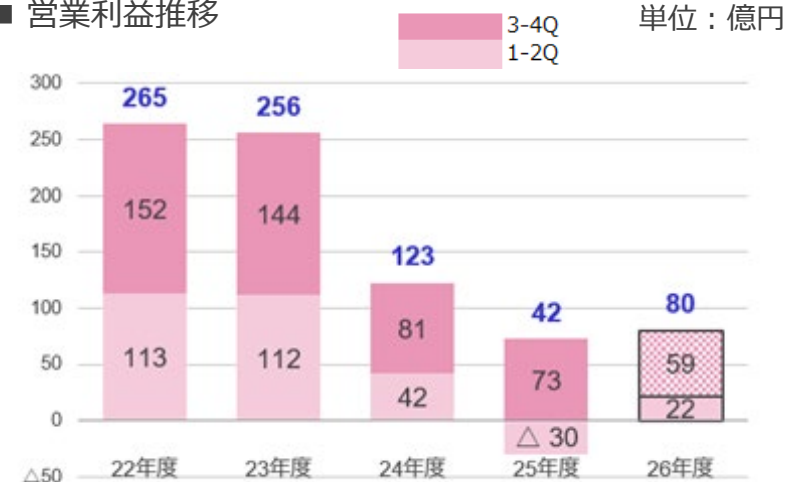
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



単位：億円

02

ロジスティックス&コンストラクション

■ 2026年度上期実績（前年同期増減）

受注高

2,136億円 (200億円)

産業用クレーンは前年に一定の受注を確保した反動があり減少するも、米国、欧州向けの油圧ショベル、米国向け建設用クレーンで増加。

売上高

2,082億円 (327億円)

受注の増加に伴い増加。

営業利益

125億円 (46億円)

売上の増加に伴い増加。

■ 2026年度予想（前回予想（26年2月時点）増減）

受注高

4,460億円 (470億円)

産業用クレーンや米国、欧州向け油圧ショベルの需要増、および構成事業の組替により増加。

売上高

4,300億円 (320億円)

受注の増加に伴い増加。

営業利益

225億円 (35億円)

売上の増加に伴い増加。

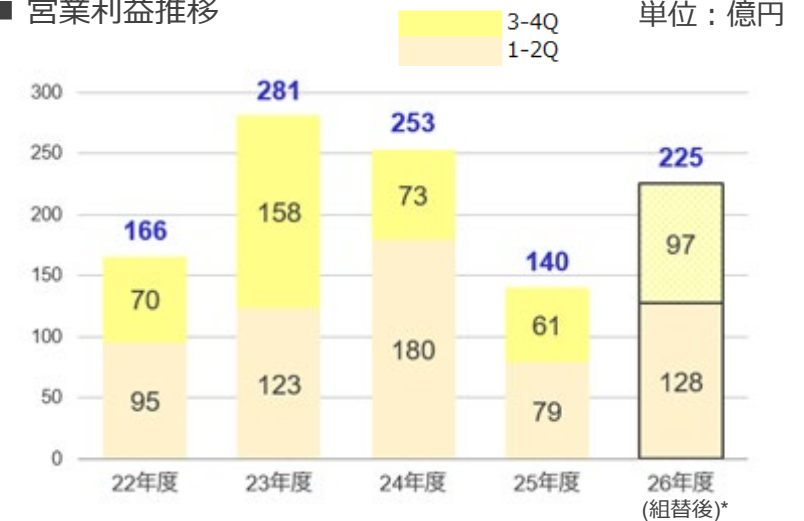
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



*グラフはセグメント構成事業の組替後の数値

: 26年7月1日付でエネルギー&ライフラインの住友重機械プロセス機器(株)をロジスティックス&コンストラクションに移管

02

エネルギー＆ライフライン

■ 2026年度上期実績（前年同期増減）

受注高

1,220億円 (▲309億円)

水処理装置、海洋構造物で複数の大型案件を受注したことから増加。

売上高

926億円 (▲43億円)

水処理装置等で当期の売上対象が多かったことから増加。

営業利益

82億円 (▲12億円)

売上の増加に伴い増加。

■ 2026年度予想（前回予想（26年2月時点）増減）

受注高

1,960億円 (▲60億円)

海洋構造物で増加の一方、構成事業の組替により全体では減少。

売上高

1,530億円 (▲170億円)

構成事業の組替により減少。

営業利益

90億円 (▲10億円)

構成事業の組替により減少するも、案件ごとの採算改善が進み増加。

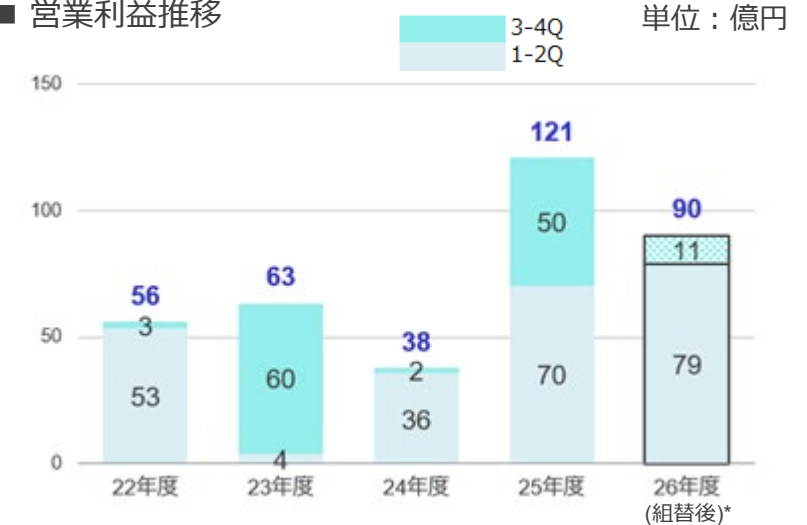
■ 受注高推移



■ 売上高推移



■ 営業利益推移



03

中期経営計画 2 0 2 9（中計 2 9）の方向性

03

中計 2 9 策定の視点

01

規模の拡大ではなく「質」の向上を最優先とし、
収益性・資本効率向上を図る

02

3年間でROE10%達成を第一目標とし、
機動的な資本政策を実行

03

新たに「牽引事業」を定義し、
牽引事業とサービス事業に経営資源を重点配分

03

中計 2 9 基本方針

基本方針

牽引事業とサービス事業に経営資源を集中し、高水準の収益性と資本効率を実現する



重点課題

牽引事業による収益力の強化

低効率事業の投下資本圧縮

サービス事業の強化



コーポレート
・事業
戦略

コーポレート戦略

- ・ポートフォリオ改革の推進
- ・経営基盤強化（DX、人的資本、ガバナンス）

セグメント戦略

- ・牽引事業の成長・収益力の強化
- ・事業の資本効率改善および再編
- ・ライフサイクルソリューションの推進

SHI-Gの持続的成長と企業価値の向上（サステナビリティ）

03

中計 2 9 数値目標（財務目標）

中計26現状
(2026年度実績見込)

重点投資領域への投資傾斜
配分が不十分、かつ外部環境変
化への対応が後手となった

中計29目標
(2029年度目標)

規模を追わずに事業を絞り、
牽引・サービス事業へ集中し
質重視の経営を遂行

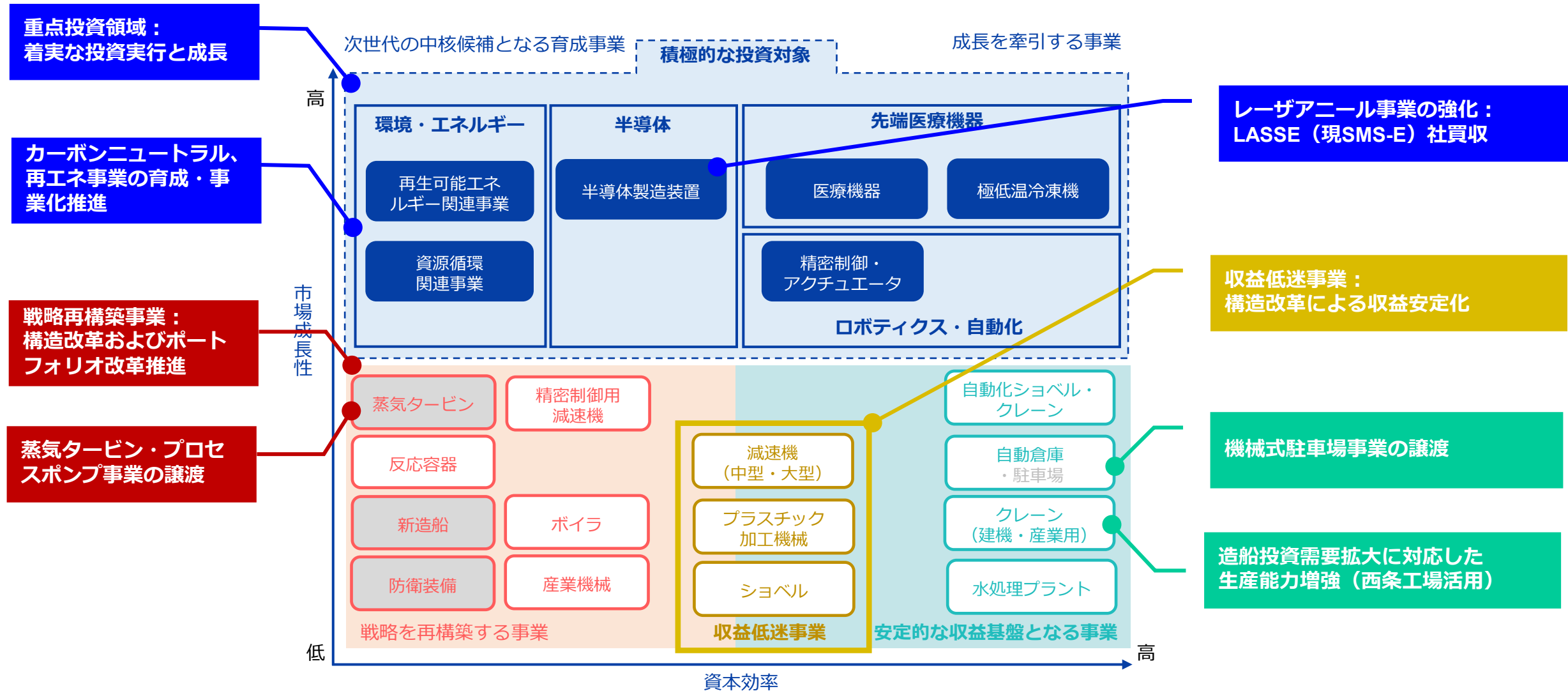
長期的な目指す姿
(2035年度目標)

盤石な土台を基に、さらなる
高水準の収益率・資本効率
を目指す

営業利益率	6.1%		10%	15%
ROE	5.0%	>	10%	15%
ROIC	5.3%		8%	15%

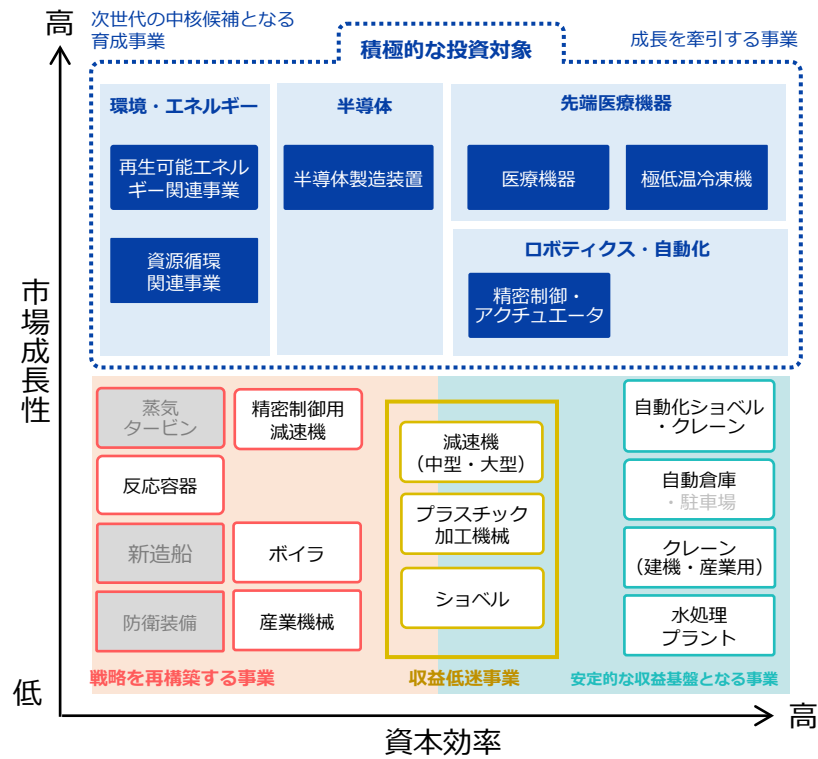
03

中計 2 9 事業ポートフォリオ（現状）と対処すべき課題

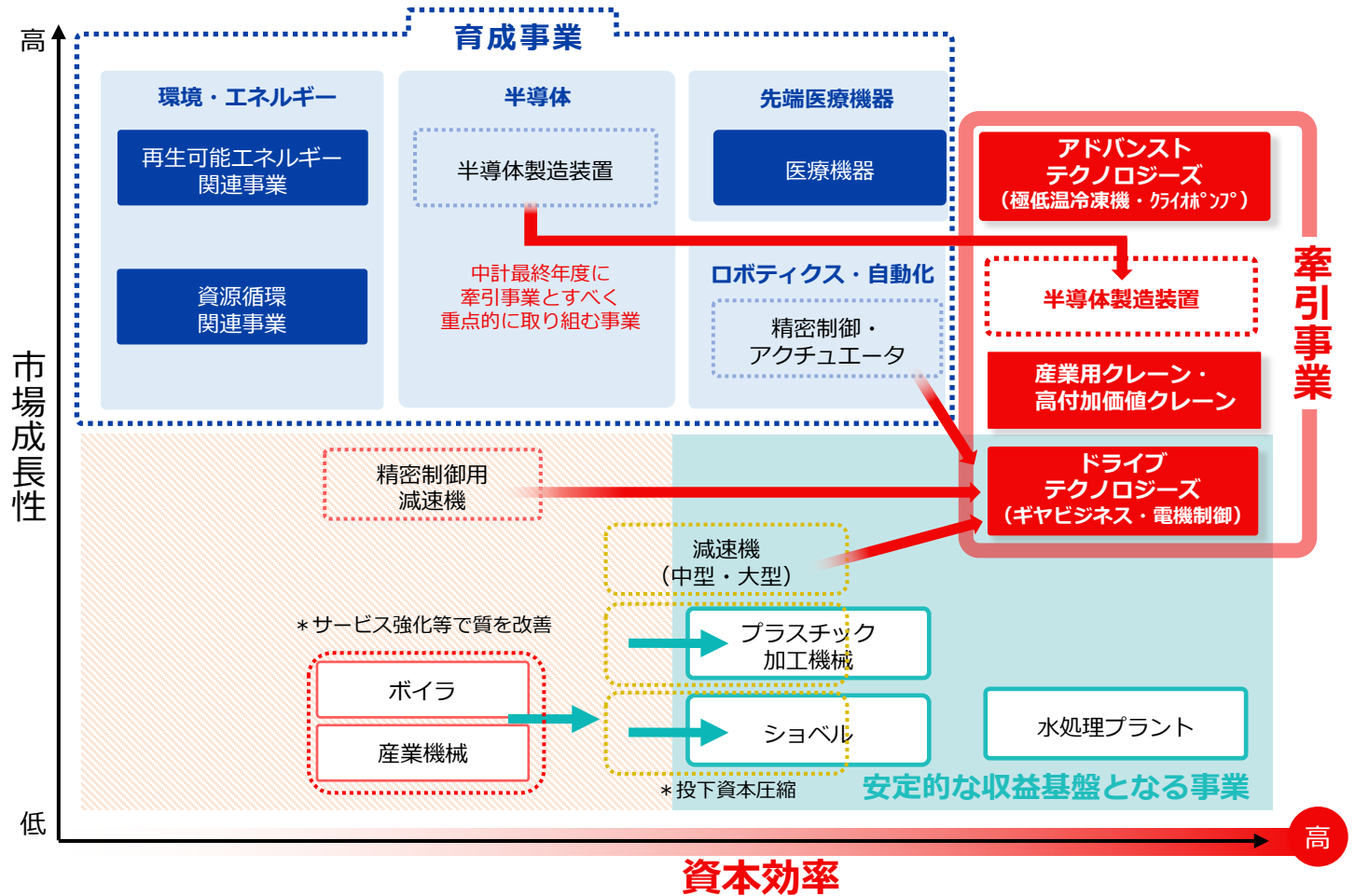


03 中計29 事業ポートフォリオ（中計29のゴール）

2026年 現状



中計29



03

中計 2 9 牽引事業による収益力強化

牽引事業：グループの今後の成長を牽引する高成長/高収益事業として、投資を含めリソース配分を重点的に行う事業

- 【条件1】 成長市場を対象とし、かつシェアNo1,2を狙う事業
- 【条件2】 2035年に営業利益率15%以上の収益性と売上1,000億円以上の規模を狙う事業

	条件1： 成長市場・競争優位	条件2： 2035年に狙う規模・収益性
ドライブテクノロジーズ SBU (DT)	ギヤ・電機・制御を統合させることで顧客価値・提案力が上がり、狙いのアプリケーションでの競争力をあげることが可能	グローバル展開・統合商品拡販・サービス拡大により、売上規模拡大と収益力強化
アドバンスドテクノロジーズ SBU (AT)	真空ロボット、クライオポンプ、ステージ等でコア技術を活かした競争優位を構築可能	半導体市場の成長を取り込むことで、2035年に向けた規模拡大が可能
クレーンSBU (予定)	国内造船投資需要の拡大に加え、国内産業用クレーンでは強固なポジションを有する	国内需要取り込み、サービス事業拡大により、高収益事業化が可能

**中計29では、牽引事業の
営業利益を現行対比で
1.5倍以上に引き上げる**

03

中計 2 9 産業用クレーン事業の強化

■ 造船業再生ロードマップ

政府は2035年の年間建造量を現状の2倍に引き上げるロードマップを策定。実効的な官民投資策を検討中

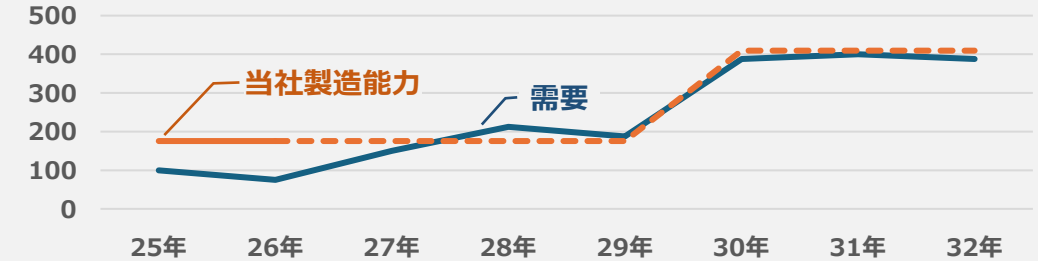
ジブクレーン



ゴライアスクレーン



■ 造船向けクレーン需要予測と当社製造能力（25年需要を100とした場合）



(注) 需要はすべて当社推定

当社は造船向けクレーンで圧倒的シェアを保有
政府・造船業界からの当社への期待は極めて大きい
が、現状の生産能力がボトルネック
以下の事業強化策を実行

- ① 西条工場 及び 新居浜工場に設備投資を実施し、生産能力を大幅に増強
- ② 建設用モバイルクレーンと事業統合し、人的リソースの最適配分による対応力向上

西条工場の有効活用



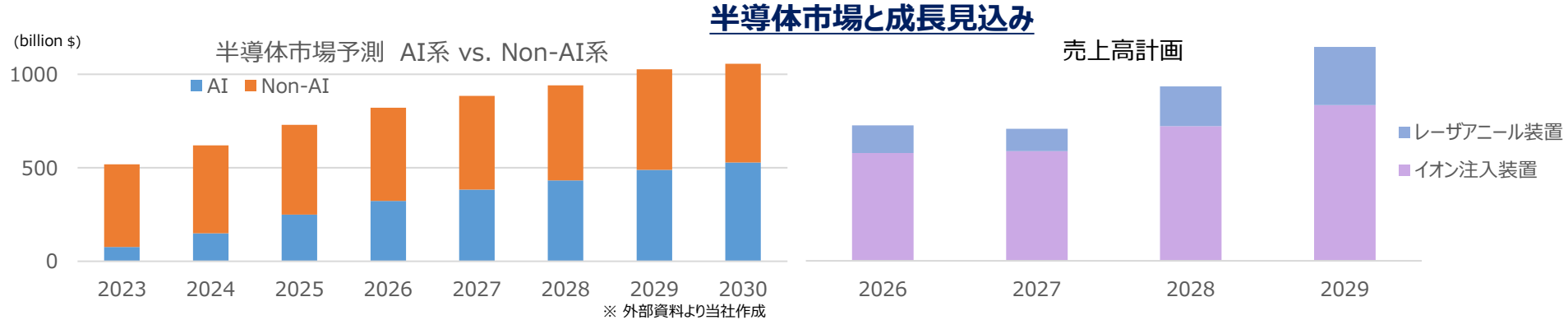
各機種の年間生産能力目標

2030年（現行比）

ジブクレーン（JC）	：	2.0倍
ゴライアスクレーン（GC）	：	1.5倍
造船向天井クレーン（OHC）	：	3.3倍

03

中計 2 9 半導体製造装置事業の取り組み

イオン注入装置
(SAion)レーザーアニール装置
(LT3100)

外部環境

- ・ 成長軸はAI系の先端ロジック・メモリへ移行
- ・ 従来用途のPC・スマホ向けは回復途上
- ・ パワー半導体は中長期成長も一部調整局面
- ・ 中国設備投資は減速、国内優遇策が加速

内部環境（課題）

- イオン注入装置：顧客層と参入分野が限定的
(新規顧客・市場への参入遅れ)
- レーザーアニール装置：量産対応への体制構築

中計 2 9	方 策
共通	戦略的な拡販（クロスセルの着実な実行・拡大、未参入顧客の開拓と新市場への進出）
イオン注入装置	新規商品/先端系装置開発の推進（マーケティング強化）
	戦略人材の育成など組織能力の強化
レーザーアニール装置	レーザーアニール事業の量産体制構築の加速

中計 2 9 では、半導体装置事業の牽引事業化を目指し、全社総力を挙げて取り組む

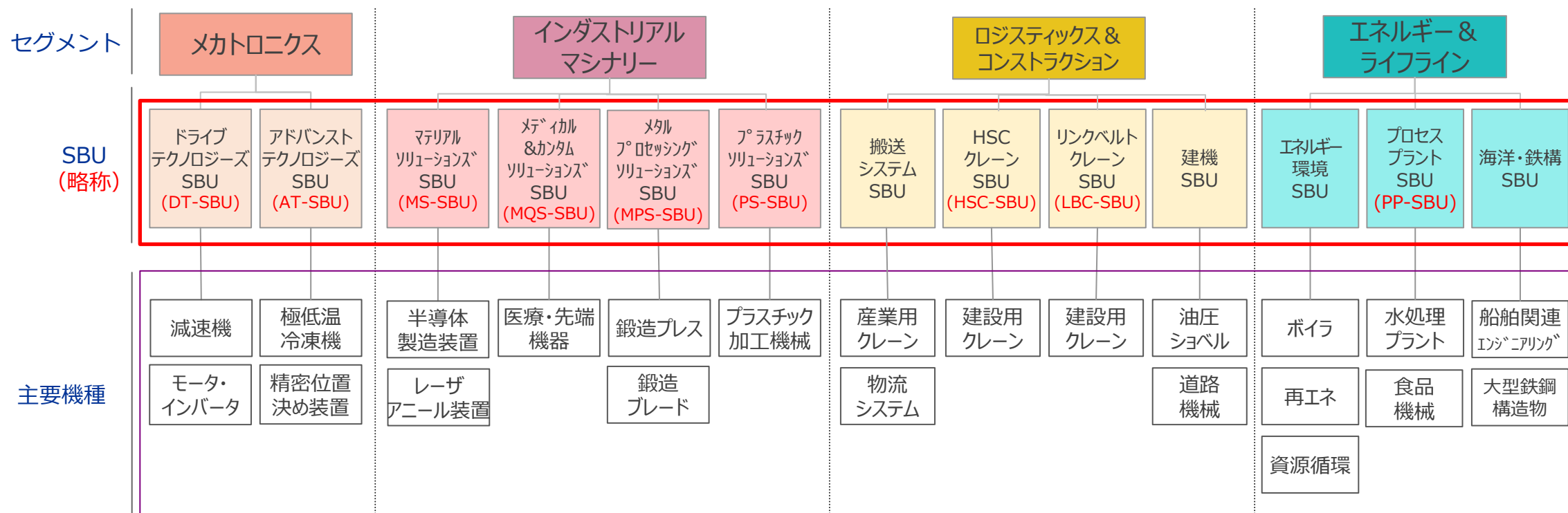
04

Appendix

04

戦略ビジネスユニット（SBU）と主要機種

- ・ 26年1月に、セグメントを構成していた事業部制を廃止し、あらたにセグメントを構成する組織として、市場起点で価値創出を担う戦略ビジネスユニット（SBU）制を立ち上げ
- ・ 顧客基盤や技術の連携によるシナジー強化および業務効率化を進め、将来に向けた新たな柱となる事業を創出し、さらなる成長に向け加速していく



※SBUのみ記載

※26年8月付でインダストリアル マシナリー
マテリアルソリューションSBU(MS-SBU)を
本社直轄組織「半導体装置本部」に改組

※26年7月付でエネルギー & ライフライン プロセスプラントSBUの住友重機械
プロセス機器(株) を、ロジスティクス&コンストラクションへ移管

04

戦略ビジネスユニット（SBU）主要数値①

単位：億円	受注高				売上高				営業利益							
	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)
ドライブテクノロジーズ	1,178	2,240	2,340	100	1,122	2,220	2,310	90								
アドバンステクノロジーズ	439	680	810	130	382	710	810	100								
その他事業・控除・調整等	△17	△30	△30	0	△20	△50	△60	▲10								
メカトロニクス	1,601	2,890	3,120	230	1,485	2,880	3,060	180	136	9.2%	220	7.7%	265	8.7%	45	—
マテリアルソリューションズ	174	450	360	▲90	198	500	460	▲40								
メディカル& カンタムソリューションズ	97	250	230	▲20	87	200	200	0								
メタルプロセッシング ソリューションズ	125	300	350	50	124	290	300	10								
プラスチックソリューションズ	507	930	950	20	449	950	970	20								
その他事業・控除・調整等	175	310	350	40	160	340	350	10								
インダストリアル マシナリー	1,079	2,240	2,240	0	1,017	2,280	2,280	0	22	2.1%	80	3.5%	80	3.5%	0	—

04

戦略ビジネスユニット（SBU）主要数値②

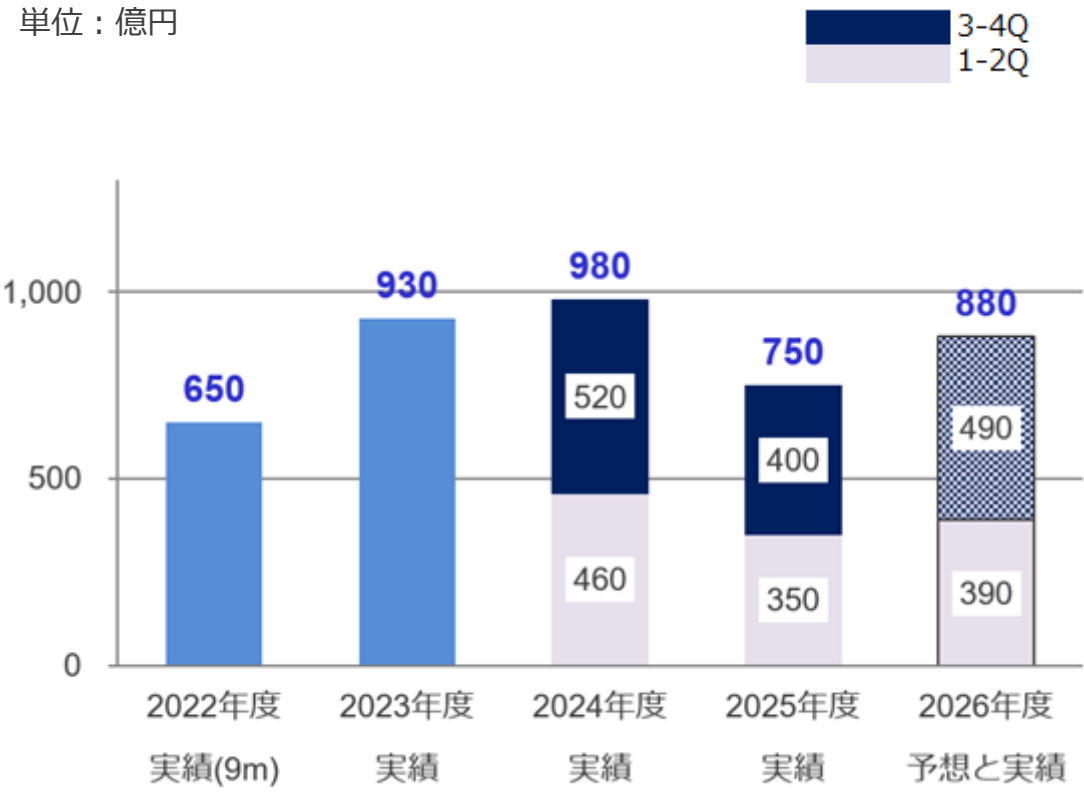
	受注高				売上高				営業利益							
	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績	2026年度 予想 (26年2月時点)	2026年度 予想 (26年8月時点)	増減 (2月-8月)	2026年度 上期実績		2026年度 予想 (26年2月時点)		2026年度 予想 (26年8月時点)		増減 (2月-8月)	
単位：億円																
搬送システム	272	600	690	90	333	620	620	0								
HSCクレーン	179	330	330	0	183	370	370	0								
リンクベルトクレーン	526	1,000	1,040	40	489	970	1,000	30								
建機	1,240	2,160	2,350	190	1,139	2,150	2,280	130								
その他事業・控除・調整等	△9 (△81)*	△100	50 (△150)*	150 (▲50)*	10 (△62)*	△130	30 (△140)*	160 (▲10)*								
ロジスティックス & コンストラクション	2,207 (2,136)*	3,990	4,460 (4,260)*	470 (270)*	2,153 (2,082)*	3,980	4,300 (4,130)*	320 (150)*	128 (125)*	5.9% (6.0%)	190	4.8%	225 (213)*	5.2% (5.2%)*	35 (23)*	—
エネルギー環境	370	830	820	▲10	337	700	700	0								
プロセスプラント	377 (448)*	720	570 (770)*	▲150 (50)*	230 (302)*	570	420 (590)*	▲150 (20)*								
海洋・鉄構	314	400	490	90	202	340	350	10								
その他事業・控除・調整等	88	70	80	10	85	90	60	▲30								
エネルギー&ライフライン	1,149 (1,220)*	2,020	1,960 (2,160)*	▲60 (140)*	854 (926)*	1,700	1,530 (1,700)*	▲170 (0)*	79 (82)*	9.3% (8.9%)	80	4.7%	90 (102)*	5.9% (6.0%)*	10 (22)*	—
その他	36	60	20	▲40	32	60	30	▲30	10	—	30	—	19	—	▲10	—
合計	6,071	11,200	11,800	600	5,542	10,900	11,200	300	374	6.8%	600	5.5%	680	6.1%	80	—

04

半導体関連事業 売上

半導体関連事業 売上額合計（概数）

単位：億円



当社が保有する半導体分野向けコンポーネント、装置とキーテクノロジー

	製品	セグメント	SBU	キーテクノロジー		
				ビーム制御	極低温	真空
コンポーネント	4KGM冷凍機 / クライオポンプ	メカトロニクス	アドバンスドテクノロジーズ		◎	◎
	真空ロボット					◎
装置	レーザアニール装置	インダストリアルマシナリー	マテリアルソリューションズ	◎		
	イオン注入装置			◎		○
	イオン照射事業			◎		○
	MCZ用超電導マグネット		メディカル&カンタムソリューションズ		◎	○

キーテクノロジーとの関係性（◎：大 ○：中）

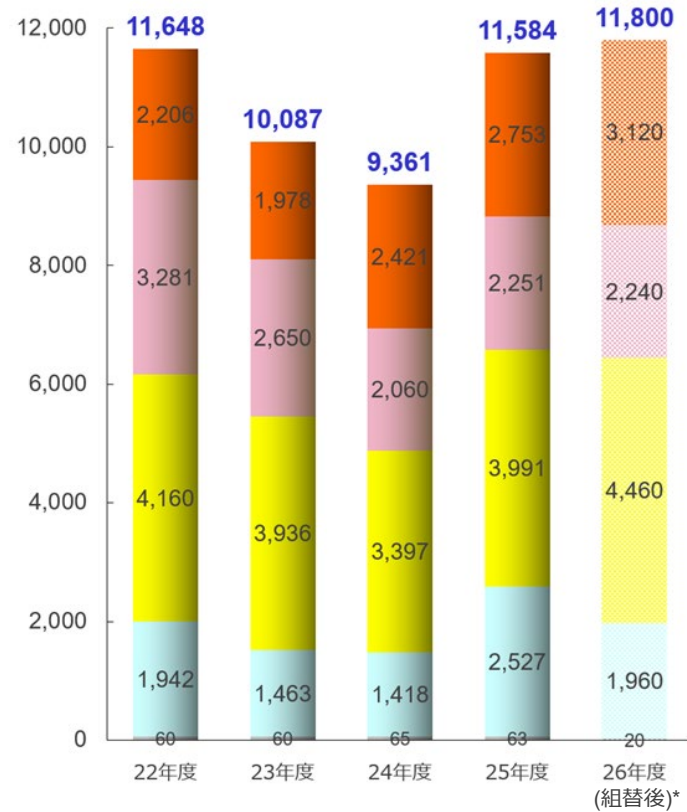
04

財務数値推移(連結)

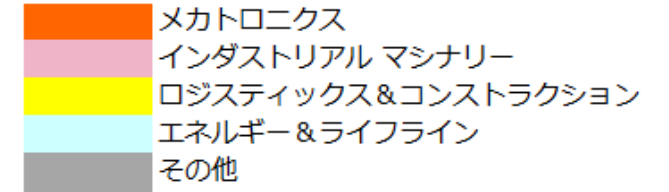
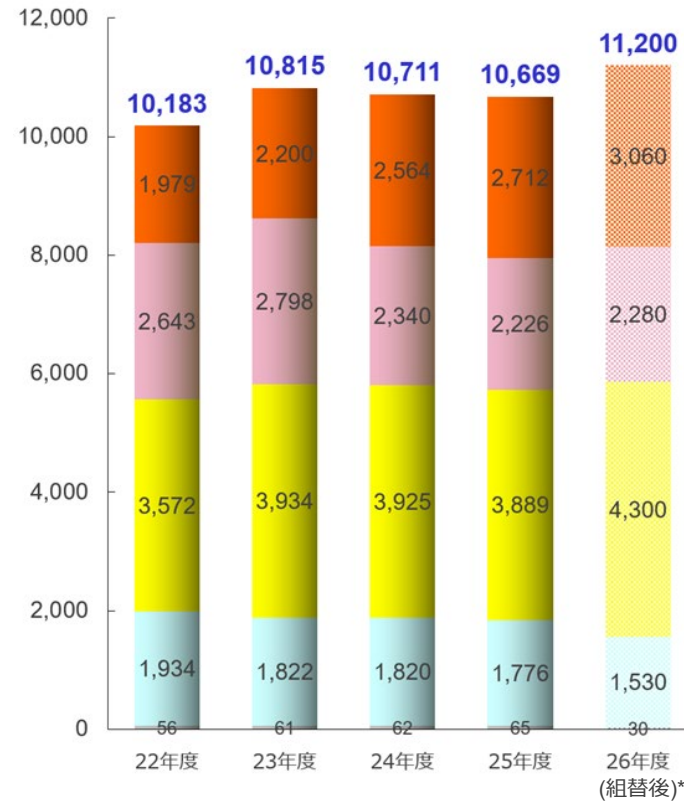
■ 受注／売上／営業利益 推移

単位：億円

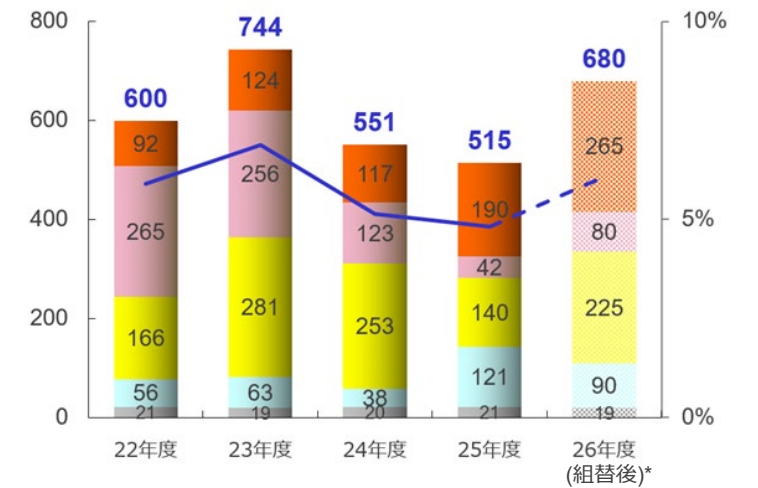
受注高



売上高



営業利益



※セグメント構成事業の組替：26年7月1日付でエネルギー&ライフラインの住友重機械プロセス機器(株) をロジスティクス&コンストラクションに移管

04

各セグメント参考情報①

<メカトロニクス>

・変減速機 機種別売上構成（概数）

	ギヤモータ (中型)	ギヤボックス (大型)	精密用途 (MCD)	サービス	電機制御	合計
2026年度 上期	40%	20%	10%	10%	20%	100%
2025年度	40%	20%	10%	10%	20%	100%

<インダストリアル マシナリー>

・射出成形機 売上業種別構成（概数）

	電気・電子関連	自動車	医療・食品容器・ 雑貨	その他	合計
2026年度 上期	20%	10%	50%	20%	100%
2025年度	20%	15%	50%	15%	100%

04

各セグメント参考情報②

<ロジスティックス&コンストラクション>

・油圧ショベル 地域別需要推移（概数）

単位：万台		北米	欧州	アジア (除く中国)	*外資のみ 中国*	日本
2026年度	需要予想	4.0	3.5	2.9	1.4	1.9
2025年度	需要	4.0	3.3	3.6	1.3	1.9

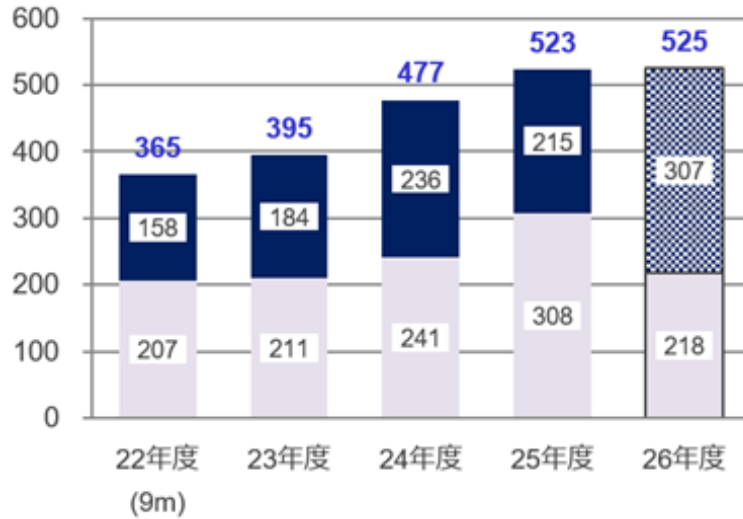
・産業用クレーン 業種別受注構成（概数）

	電力	鉄鋼	造船	港湾	その他	合計
2026年度 上期	0%	50%	50%	0%	0%	100%
2025年度 累計	0%	20%	50%	10%	20%	100%

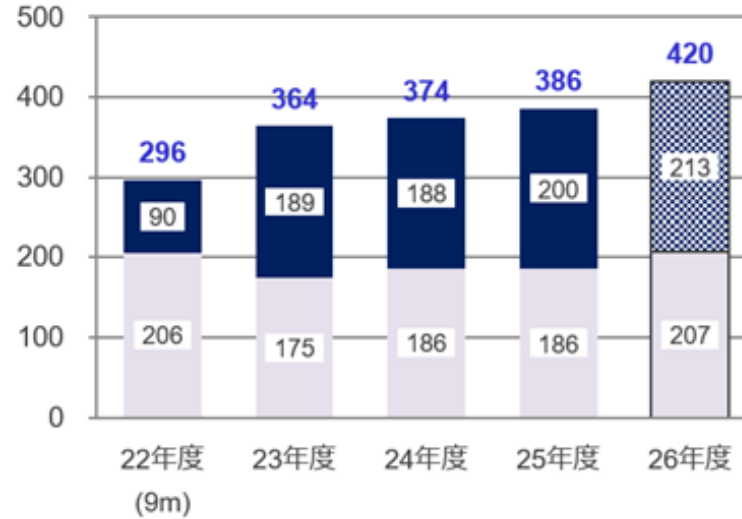
04 設備投資・減価償却費・研究開発費・人員・為替感応度

設備投資*

*実績はキャッシュアウトベース、
予想は決定ベース

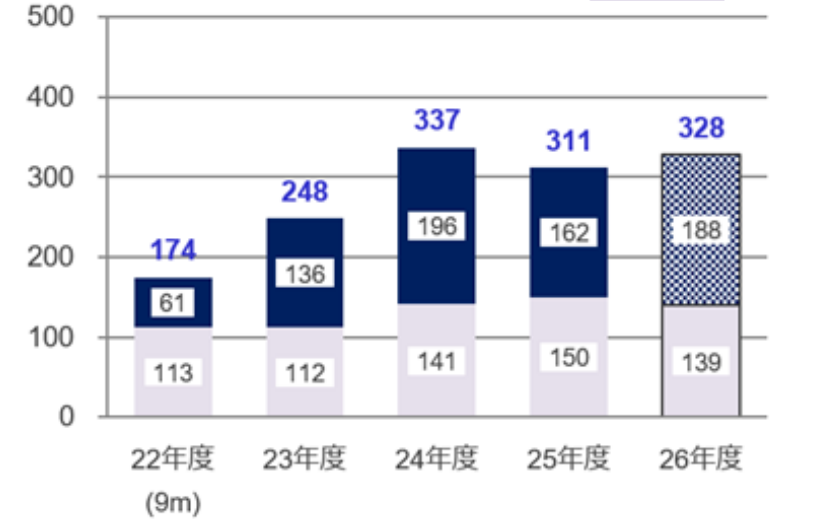


減価償却費



研究開発費*

*実績はPLベース、
予想は決定ベース



単位：億円

人員（各年度終了時点）

単位：人	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度 6月末
	25,303	25,337	25,123	24,720

為替感応度（2026年度予想）

単位：億円	ドル	ユーロ	合計
1円の変動による営業利益への影響額*	2.7	1.5	4.2

*2026年度下期想定レートは¥155（ドル）、¥180（ユーロ）

04

地域別売上高

<為替レート(ドル) ¥ 158> 単位：億円	2026年度上期実績														
	北米		ヨーロッパ		アジア(除く中国)		中国		その他		海外 計		日本		総売上高
メカトロニクス	353		339		183		168		103		1146		338		1,485
インダストリアル マシナリー	63		134		149		205		31		582		436		1,017
ロジスティックス&コンストラクション	817		170		238		39		69		1,333		749		2,082
エネルギー & ライフライン	87		155		113		1		84		440		486		926
その他	-		0		-		0		-		0		32		32
合計 / 売上高比率(%)	1,320	24	797	14	683	12	414	7	288	5	3,501	63	2,041	37	5,542

<為替レート(ドル) ¥ 148> 単位：億円	2025年度上期実績														
	北米		ヨーロッパ		アジア(除く中国)		中国		その他		海外 計		日本		総売上高
メカトロニクス	286		271		169		140		84		951		343		1,294
インダストリアル マシナリー	71		112		136		216		25		561		421		982
ロジスティックス&コンストラクション	654		62		223		36		49		1,023		731		1,754
エネルギー & ライフライン	67		124		95		8		31		325		558		883
その他	-		-		-		0		-		0		34		34
合計 / 売上高比率(%)	1,079	22	569	12	622	13	400	8	189	4	2,860	58	2,086	42	4,946



将来の業績に関する予想、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
したがって実際の業績は様々な要因の変化により、記載の予想、見通しとは異なる場合があります。